

DISCLOSURE 2026 くましんの現況 Contents

ごあいさつ	1	基本方針	9	商品・サービスのご案内	42
総代会	2	健全性への取り組み	15	手数料一覧	43
地域貢献	4	事業の組織	28	ディスクロージャー項目と掲載頁	44
主要資産と収益項目の推移	8	資料編	29	ネットワーク	45

組合概要

名称	熊谷商工信用組合(略称:くましん)	自己資本額	4,336百万円
設立	昭和28年3月	自己資本比率	11.14% (国内基準4.00%以上)
本店所在地	熊谷市本町二丁目57番地	組合員数	20,936名
預金残高	75,667百万円	店舗数	9店
貸出金残高	43,804百万円	常勤役員数	78名

(令和8年3月31日現在)

経営理念

1. 地域への貢献

地域金融を通じ、地元の発展に貢献する

2. お客様第一主義

お客様第一主義に徹し、常に創造の精神をもって奉仕、豊かな郷土を築きあげる

3. 健全にして堅実な経営

経営基盤の強化と公正な業務運営に努め、健全にして堅実な経営の徹底に全力をあげる

4. 役職員の生活向上

だれにも信頼され、親しまれる明るい職場をつくり、くましんの永続的な発展と役職員の生活向上をめざす

第10次中期経営計画書 ~本業収益だけで経費を賄える自立可能な体質への改善~

基本方針

I. 組織体制の改革

- マーケットに応じた営業エリアの見直し及び戦略的な店舗の集約、基準人員に基づいた人員配置により営業体制の再構築を図る
- 新たな部署の有効活用、職系毎の業務の明確化、職員のモチベーションの向上等の諸施策を徹底する
- 新規採用の抑制等、人員のスリム化を図り少数精鋭による体制を構築する
- 個人の業績貢献度を重視した人事評価とする

II. 営業推進の改革

- リスクアセットの増加を抑えた貸出金の増強を図り、コストに見合う適正な貸出金利を確保する
- お客様の立場に立って、お客様目線での提案営業に徹することで、他行との差別化を図り、収益性の高い活動をする
- 売込案件から必要資金の把握に営業をシフトする

III. 人材育成の改革

- 金利上昇局面に伴い、金利交渉のできる人材を育成する
- 事業者支援ができる人材を育成する
- 自ら考え、自ら行動できる人材を育成する
- 若手職員を教育し、上位職に積極的に登用していく